

夫の力に倅を以て雄視の如く能く
 死するもの哉予もさうおぼやうに思ふ
 予は父干将が祖音なりたるそなたに
 母と眉間火に向ひてなつたそなたは母
 父干将と交りておひさしな事なりと
 ちうんも具朋友の恩を仇せんおと女と
 ともは楚王を討たせしめし汝若し父の仇
 報せんともいふしお持の報の切先とす

喰切くくはの中うちと食くんと可い死しあるん
が首くびをぬく楚王そおう、勢いきりぜいほくつち
女の首くびをぬくあんゆあんゆん早はやと食くとぬの
えんを楚王そおうはゆあけたあ死しと色いろとと
くんと眉まゆ回くわい人ひとたあととび郎らう雌め段だんの
切きらん三寸さんすん喰切くく口くち中ちゆうとぬあととと
おのおのを首くびと搔切さくく容ようのおのを死しと
く容ようと眉まゆ回くわい人ひとが首くびととと郎らう楚王そおう